

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ゆっくり、一緒に、楽しくの理念の下家庭的な環境で残存機能を活用し地域住民との交流を持てる環境とケアを目指す		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関、リビング、事務所の中に理念を掲げ、理念実践に向け日々努力している		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	買い物や外出時、会話を多く持ち理念を含めた思いを伝え、運営会議を通して さらに理解してもらえよう取り組んでいる。また、近所の新店舗には出向いてパンフレット持参し、紹介 説明した		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所の方が毎日のように訪問して下さり、おすそわけや庭の畑仕事を自発的にして下さるような付き合いができており、災害時には助けに来るからと言ってくださっている		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	中学生のインターンシップを受け入れ、ゴミ集積所の清掃や手作りおはぎの配布など入居者とともにに行い交流に努めている	○	入居者の方が参加できるような地域行事にもっと取り組んでいきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近隣の方と普段より気軽に挨拶し、特に一人暮らしの方には困ったことがあったら いつでもどうぞ と声をかけ相談しやすい環境づくりに取り組んでいる		
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	スタッフで話し合いながら自己評価を作成 外部評価の改善点はスタッフで話し合い取り組んでいる		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	包括支援センター、地域の方、家族、入居者の方々に参加してもらい、ホームの役割、状況や入居者の暮らしぶりなどを報告し、家族の要望や想いを聞き出せる場ともなっており、サービス向上に取り組んでいる また、消防団の方にホーム見学依頼しアドバイスいただいた	○	当ホームでは名前が固いとの意見により お話会 として参加呼び掛けている
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	生活保護課担当者の訪問もあり意見をいただくようしている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	運営推進会議を通し、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について講義していただき、スタッフ 家族と学ぶことができた。地域福祉権利擁護事業を利用しておられる方もおられ、他の入居者の方も利用検討中 社協相談予定である		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアル作成し、勉強会などでスタッフの意識を高め、日々防止に努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時入居者、家族から不安や要望を聞き、十分に話せる時間を設け、ご理解して頂けるよう説明した上で契約している		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関先に苦情箱の設置、相談窓口の担当者の名前 外部への相談窓口のtell番号記載のパンフレットを貼っている また運営推進会等時にも話しやすい雰囲気作りを行い意見をいただいている		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	病状の特変時には随時電話連絡し、暮らしぶりなどは面会時やホーム便りで個別に写真や文章にて報告、送付している		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置し、面会時や運営推進会議、家族会など積極的に話しかけ意見や不満などを聞くようにしている。頂いた意見はスタッフ間で協議し改善にむけ、迅速に対応している		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議や申し送り、食事会などで意見交換し、スタッフの声に耳を傾け意欲、質の向上に活かしている		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	二交代制で行っているが状況に応じて臨機応変に対応できるよう人員確保、調整に努めている		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	当会社の事業所内でやむなく異動がある際は新旧職員の重複勤務の期間を設け、十分な引き継ぎを行い、入居者にスムーズに受け入れていただけるようフォローし馴染みの関係づくりに向け取り組むようにしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	フランチャイズ勉強会に参加し、知識や質の向上に向け取り組んでいる。また、外部の研修や講習会にも参加できるよう情報提供や勤務体制の調整を行っている		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	フランチャイズ間での交流研修の機会があり、他ホームを体験することで学んだり、感性を磨くことができる。ネットワーク作りにも役立っている		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	互助会を発足し食事会や旅行に向け積み立てを行っている。また、親睦会を開き話を聞いたり、ストレスをため込まないようにしスタッフ間のコミュニケーションを密にしている	○	互助会 平成20年1月1日発足
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	スタッフの努力や実績、勤務状態など把握しており、常に言葉をかけるように心懸け、各自向上心を持って働けるよう努めている		
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前に面接を行い、本人の要望 不安点を十分聞く機会を設け、本人が安心して利用して頂けるよう日頃の業務の中に相談できる時間や環境に配慮していく姿勢である		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族の要望や不安を聞き、受け止め、当ホームで出来る事を説明し、お互いの信頼関係を築けるよう努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時は利用者のレベルにあった生活を考慮し何が必要なサービスなのか視野に入れながら説明や紹介をしている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族の要望があれば利用に至るまで利用者様の心理状態を把握しながら必要があれば体験入居期間を設けている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(ゆっくり、一緒に、楽しく自分らしい生き方を求めて)という理念の下残存能力を活かすため利用者様の出来る事を一緒に発見し喜び楽しみを共に感じお互い学び支え合う関係が保てる様努めている		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	苑行事にはご家族に参加して頂き面会時にも楽しみを共に感じたり一緒に支え合えるような関係を築いている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	普段より本人に御家族のことで話題づくりを行ったり面会時には間に入りスムーズなコミュニケーションが出来るよう支援している		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染み安らぎの場所になるよう昔から使用されていた物や写真を飾るなどの部屋作りに努めている古い友人や知人の面会がある方にはその方に年賀状等書いて頂いている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員は必要以上に干渉せず見守り姿勢を取っている利用者様同士の関係を把握しておりトラブル時は必ず間に入り仲裁しトラブルを未然に防ぐ様な対応をとり利用者様同士がお互い助け合い支えあえるような環境作りに努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去時にはいつでも来て頂けるよう説明している退去された家族様より電話で相談を受けたり訪問があったり年賀状が届いたりしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者が何をどうして欲しいのかを行動訴え等で見極め否定せず接し方にも十分配慮している本人のペースに合わせた支援を行っている		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴シートを活用し馴染みの生活が出来るような活動支援を行っている又スタッフ全員でケアプラン見直しを検討し一人一人にあったケアが出来ている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	月に1回必ずケアカンファを行いスタッフ全員で一人一人の日常の暮らしの流れを検討し心身状態の把握残存機能を活かした支援を行い引き出せるよう努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプラン作成時には家族本人の意見を聞き情報収集しスタッフ全員で話し合い担当者とかケアマネで作成している又家族本人にプランの説明をしている		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じた見直しを行い一か月毎のモニタリングをしている状態変化時にはその都度話し合い新規計画追加プランを作成している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録にケアの気づき特変時には具体的に記入し申し送りにとりスタッフ全員が情報を共有している又そのことを話し合いケアプラン見直しに活かしている		
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の状況で病院付添が出来ない場合家族に代わって付き添いを行い本人希望により同法人に出向き顔なじみの同苑者やスタッフと過ごせる時間なども提供している		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	警察消防等協力体制が整っており近隣学生ボランティアを受け入れている民生委員二か月毎の運営推進会議で案内文を送付している		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じてケアマネやサービス事業者との情報交換や連携を図っている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	二か月毎の運営推進会議に包括支援センターの方にも参加して頂き抗議や意見アドバイスを頂いている		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している			

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医療機関とは別に専門医に診て頂いている入居者様もおられ相談、診断、治療が受けられるよう支援を行っている		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	苑に看護職がおり日常の健康管理や医療活用ができており気軽に相談できる		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した時はケアや本人について情報提供し少しでも早期退院できるよう医師、看護師、家族を含め情報交換行い連携できている		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化及び週末期の指針を家族、本人と取り交わしその場合に出来るだけ早く話し合い本人や家族の意向を取り入れながら医師とも話し合い方針の共有化を図っている		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	安心、安全に暮らせるようスタッフ間で対応可能、困難、不安な事を話し合い家族、医師とも対応方針の共有化図り連携し支援に取り組んでいる		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居者前に本人家族と話し合い今までに居た環境に近くなる様馴染みの品、使っていた道具等を持参してもらい習慣、好み等情報交換しダメージを最小限に留めるよう努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	スタッフは入居者一人一人を尊重し否定しないケアを行っている個人情報の取り扱いについては職員採用時に書面を取り交わすことで徹底を図っている		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者の能力に合わせた説明を行い自己決定できるよう支援を行っている又言葉で表現出来ない方は表情、行動で察知出来るよう観察力を身に付け情報交換し話し合いを行っている		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(ゆっくり、一緒に、楽しむ)をモットーに入居者の残存能力ペースに合わせたさりげない言葉かけを行い希望にそったケアをしている		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	苑内での散髪は本人、家族の承諾を得て行い、店へ行く時は利用者の希望の所へ付き添いを行っている服装、身だしなみは本人に選んで頂き出来ない所をさりげないフォローをしている		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立を一緒に考え、材料を切ったり盛り付けたり食卓のセッティングをして頂き片付けも共に作業し楽しみながら意欲を引き出す支援を行っている		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人が望まれる嗜好品を聞き提供するよう努めている又医師の指示により摂取が限られている方はスタッフ全員が把握している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人一人の排泄管理表によりパターンを把握しさりげないトイレ誘いかけを行っている個々に応じて布パンツ尿取りパット使用等で対応している		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	体調、状態にあわせ本人の希望タイミングをみたり入浴剤を入れ入浴が楽しめるよう支援を行っている又拒否が強い方は無理をせず時間をおいたり後日に延期したりと配慮を行っている		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	休息と活動のバランスを考え残存能力を活用しながら日中の活動支援を行い日中も休息を取りながら夜間は良眠につなげる事が出来るよう支援している又医師に相談し眠剤や助言を頂き安心して眠る事ができる様支援している		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や残存能力を活用した日常生活、洗濯物量みや調理等楽しんで出来る様会話を持ちながら行っている		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の要望にて一人の方が所持しており自己管理されている買い物に付き添ったり依頼がある場合対応している又所持していない方も外出の際買い物を進めたり、計算レクで金に触れ金銭感覚が落ちないように支援している		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物に出掛けたり庭で草取り、洗濯干したりと戸外に出る機会を作っている又車いすであっても希望に応じて外出の支援を行っている月1回のバスハイクを設けている		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	スタッフと毎月銀行に行ったり、家族やスタッフと空家となっている自宅を見に行ったりと個別に外出支援を行っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族、知人からの電話があった時は本人に代わり話をして頂いたり手紙が届いた時は返事を書いて頂くよう支援している		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問時間の制限もしておらず家族だけでなく誰でも訪問出来る様配慮しており訪問の際には利用者との間に入りコミュニケーションが取れるにしたり前スタッフが笑顔で対応する様努めている		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	スタッフ全員が理解し身体拘束をしないケアに取り組んでいる		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関は鍵をかけず出入りを自由に行っているその為所在確認や出られる際は見守り同行し安全に努めている		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中スタッフ一人は利用者の所在、様子を伺い知れるよう配慮しており夜間は状況を把握しやすい位置におり巡回を行い所在、安全を確認している		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬は施錠し管理保管している。洗剤、包丁等所定の保管場所、管理方法があり毎日実行している		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	勉強会等で事故防止の知識を学び取り組んでいるヒヤリハットの活用や事故が起こった際は報告書作成し再発防止に向けスタッフ全員で話し合いを行っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	勉強会にて学習し緊急体制マニュアルをすぐに見れるよう手短な所に置き普通救命講習を受けた職員が在籍している		今年度の救命救急法は1月31日予定しており消防署に依頼している
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災時の訓練として年回消防訓練を行っており近隣の方や消防団の方にも災害時の協力を依頼している防災マップに当ホームも記載されているとの事		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	想定出来るリスクや状況を家族、担当医、職員で話し合い私たちスタッフが出来る事を説明し、家族にも理解、協力して頂き対応していつている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	健康チェックを毎日行い変化や異常サインは申し送りや記録に残し状況に応じて応じて看護師報告や病院受診を行い常にスタッフ間で情報の共有化に努めている		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は薬の目的、副作用、用法、用量について理解している薬包1つ1つに名前日付を記入し誤薬、飲み忘れがないよう努めている服薬の経過や変化は病院へ報告している		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	こまめな水分補給や食物繊維の多い料理の提供を心がけ体を動かしたりマッサージを行い予防に努めているそれでも排便出来ない場合は医師に相談し整腸剤や下剤服用しスムーズな排便に取り組んでいる		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔チェック表を活用し毎食後、個人に合わせたケアを行い不十分な所は介助している洗浄剤を使用し週1回消毒、毎週水曜日には歯科往診で口腔内の清潔保持に努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	使用食品一覧表を作成し栄養バランスやカロリー過不足、水分不足が起こらないよう知識、意識を持つよう努めている又個人のチェック表で摂取量を確認している		バルーンカテーテル挿入中の1名の入居者に関してはinとoutをチェック中で肝臓食を提供中
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルがある感染症が流行する時期には職員職員の意識付けや話し合いをして実際に対応できるよう学んでいる		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	新鮮で安全な食材提供を行っている手洗いし毎日調理用具の消毒を実施している		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	当苑は民家改修型であり家庭的な雰囲気がある玄関回りには花等を置き、花壇には地域住民と一緒に野菜等育てている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様が不快を感じないよう配慮し壁には季節感のある作品を入居者様と一緒に作成している又花や置物等を飾ったり心地よく生活出来る様心掛けている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには3人掛け、2人掛け、1人掛けのソファがあり自由に過ごせる場を設けている又その際思い思いに過ごせるソファの場所向き等配慮している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族や知人の写真や使い慣れたものを持参して頂き安心して心地よく生活出来る様工夫している		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなくよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	空気の入替えをこまめに行いながら十分な配慮している又温度調整の為に温度計、室温計を設置している		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	苑内バリアフリーになっており廊下には手擦りを設け居室内も動きやすく安全に生活出来る様家具等を配慮している玄関だけは段差があり段差を少なくする為の工夫もしている。入居者様の出入りに際は十分注意を払っている又段差があることで下肢筋力維持の1つとして役立っている		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人一人の理解力を認識し出来る事はして頂き出来ないことは一緒に行い自立して暮らせるよう支援している		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	出来る範囲内で洗濯物を干したり、畑などで活動できるように活かしている		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

理念に沿ったケアに努めており、立地を生かし、歩いていけるコンビニや八百屋を時に利用し、地域の方にホームの所在や認知症の理解に努め、敬老会や新年会を開き、ご家族様、地域の方とともに支えている民家改修型施設である